青い麦（1953）

LE BLE EN HERBE

メディア 映画
ジャンル ドラマ　青春
製作国 フランス
色彩 B&W
時間 108分
初公開日 1954/09/14
公開情報 東和

【解説】

作品によって出来、不出来の激しいオータン＝ララだが、この作品と「肉体の悪魔」はまさにフランス映画らしい名品と呼んで差し支えなかろう。コレットの有名な同題の中編小説が原作で、脚本はオーランシュとボストの名コンビ。２０年代の雰囲気をよく出したＭ・ドゥーイの美術が秀逸で、Ｒ・ルフェーヴルのカメラもしっとりと美しい。

北フランスの海辺の避暑地。毎年夏になると一軒の別荘を共有していたフィルとヴァンカの家。二人は兄妹のような間柄だったが、少年は１６、少女は１５歳になる。互いに異性として意識しあう年頃だ。浜のテント小屋で映画を観ての帰り、初めてキスを交わす二人。翌日、海岸の沿道で高級車から降りたレディがまるで紳士に接するようにフィルに道を尋ねた。が、ヴァンカのことはまるで子供扱い。少年の目に白衣の婦人は強く焼きつけられた。ある日、配達のお婆さんに代わって電報を届けた少年に、その婦人＝マダム・ダルレー（Ｅ・フィエール）はとても優しかった。やがて、ある晩、自宅に忍び込んできたフィルに初め困惑していた夫人も、つい遊び心を起こし、震える少年を抱き寄せて愛撫をし……。翌日、再び夫人を訪ね、パリに戻ってもあって欲しいとせがむと、夫人は、ヴァンカに求められないので私の所に来るのね、と笑いながらキスをした。が、その夜の態度は掌を返すようだった。これは女の浮気、とはっきり言い渡され意気消沈するフィルに、ヴァンカは勇気を奮って自ら近づき、庭の隅で抱き合った。そして、夏は終わり、人々は散り散りになっていく。夕暮れに名残を惜しむフィルにヴァンカは呟く。一年前の私に戻りたい、と……。思春期の少年少女の微妙な心情を丁寧に描出し、フィエールの妖艶な毒々しいまでの美しさも魅惑的だった。

【クレジット】

監督	クロード・オータン＝ララ	Claude Autant-Lara
製作	アンリ・デューチュメイステル	Henry Deutschmeister
脚本	クロード・オータン＝ララ	Claude Autant-Lara
	ジャン・オーランシュ	Jean Aurenche
	ピエール・ボスト	Pierre Bost
撮影	ロベール・ルフェーヴル	Robert Lefehvre
音楽	ルネ・クロエレック	Rene Cloerec
出演	エドウィジュ・フィエール	Edwige Feuillere
	ピエール＝ミシェル・ベック	Pierre-Michel Beck
	ニコール・ベルジェ	Nicole Berger
	ジョジアーヌ・ルコント	Josiane Leconte
	ルイ・ド・フュネス	Louis de Funes

このデータベースのデータおよび解説文等の権利はすべて株式会社スティングレイが所有しています 。
データ及び解説文、画像等の無断転用を一切禁じます。 Copyright (C) 2024 Stingray. All Rights Reserved.